

JWFファンド2020 完了報告 概要

4. Sparly Dehri 村の地域共有VIPトイレの建設(パキスタン)

- 実施団体: Shama Social Village Development Organization (#346)
- 費用: 2,112ドル (JWFファンド1,000ドル、団体518ドル、受益者594ドル)
- 受益者数: 32世帯、200人
- 実施地の水問題:

対象の村には衛生に関する設備と教育が不足している。各家庭には囲いのあるスペースがあり、そこで排泄や洗濯・沐浴をしているが、動物が糞便を餌としている。申請団体が2018年～2019年に実施した調査では、村の約6割は適切な衛生設備がなく野外排泄をしている。糞便汚染による水源の汚染が深刻となっており、下痢症やマラリアなどの病気が発生している。



住民がトイレとして使うスペース



目隠しの布をかける世帯もある

- 主な活動内容: 地域住民との協議、地域住民主体の委員会4つの設立、地域共有のダブルVIP(換気改良式)トイレ5基の建設、衛生習慣についての啓発活動2回、維持管理委員会の設立と維持管理トレーニング等
- 持続性: 建設したトイレの維持管理は維持管理委員会が行う。

これらの活動により衛生環境が改善され、住民の生活環境の向上が期待される。

JWFファンド2020 完了報告 概要

4. Sparly Dehri 村の地域共有VIPトイレの建設(パキスタン)

実施中の様子



資材の運搬



VIPトイレの建設

現場からの声(抜粋)



Ikhtiyarさん
(45歳、設備の利用者)

この地域の最も貧しい25世帯以上の人びとにトイレを提供してくれたShama organizationとJWFにとっても感謝しています。おかげで悪臭や子どもがかかっていた病気が減りました。私たちの村に初めてトイレが建設され、人々はより基本的な健康について意識するようになりました。

実施後の様子



完成したVIPトイレ



トイレの内部



Faizullah Khanさん
(30歳、学校の校長)

学校の校長として、JWFの支援に感謝しています。私はこのプロジェクトを通じて、健康を保てるようになり、衛生の原則を学び、これを生徒たちに伝えることで意識向上にもつながりました。